

平成30年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

2月28日(水)

(1)	山崎	雄史	議員	(真誠会)P	1
(2)	松井	久美子	〃	(公明党)P	2
(3)	中西	礼皇	〃	(未来市民)P	3
(4)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)P	4
(5)	永井	俊作	〃	(未来市民)P	5
(6)	尾仲	利治	〃	(民主連合)P	8

3月1日(木)

(7)	林	健太	〃	(真誠会)P	9
(8)	佐々木	敏	〃	(公明党)P	10
(9)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	11
(10)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	13
(11)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)P	14

3月2日(金)

(12)	寺井	吉広	〃	(真誠会)P	16
(13)	梅田	宏希	〃	(公明党)P	18
(14)	北川	貴則	〃	(未来市民)P	20
(15)	坂口	光男	〃	(真誠会)P	22
(16)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	23

※ 順位については予定です。

平成30年第1回定例会3月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	山崎雄史(真誠会)
発言事項	<p>1 平成30年度当初予算について</p> <p>(1) 「まちの好循環」がさらに加速していくための当初予算の基本的な考え方について</p> <p>(2) やさしいまちづくりの重点施策である「待機児童完全解消プロジェクト」について</p> <p>2 市制施行100周年について</p> <p>(1) 「やさしいまち・明石の創造発信」としての記念事業の取り組みについて</p> <p>(2) 100周年を起点としたその後のまちづくりについて</p>		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 明石市のこども・子育て支援のこれからのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 保育所待機児童の解消について(2) 放課後児童クラブについて <p>2 食品ロス削減への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 食品ロス削減の現状と今後の取り組みについて(2) 市内にフードバンクの設置を。 <p>3 がんの予防対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) がん予防対策の現状について(2) がん教育を含めた今後の取り組みについて		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	中西 礼皇(未来市民)
発言事項	<p>1 第5次長期総合計画を中心とした施策の進捗について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 各施策はバランスよく進められているか。(2) 高齢者向けの施策は十分か。(3) 住み続けたい都市になっているか。(4) まち・ひと・しごと創生総合戦略も含めた施策への評価について <p>2 市制施行100周年記念事業について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) これまでの取り組みと今後の事業の考え方について(2) 事業の進捗について		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 事業所税について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 行政サービスと税負担のあり方について(2) 人口増と税収増の関係について(3) 課税団体指定期間を踏まえた将来見通しについて(4) 都市環境の整備及び改善について(5) 地域経済への影響を最小限に抑えるための方策について(6) 円滑な課税及び徴収に向けた準備状況について		

発言順位	5	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>1 指定管理者制度と働き方改革について</p> <p>(1) 働き方改革について (要旨) 安倍首相は「同一労働同一賃金の実現」や「非正規という言葉をこの国から一掃する」と言っている。低賃金・低労働条件につながる指定管理者制度も含め、働き方改革について本市の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 東京一極集中の是正について (要旨) 地域活性化のため東京一極集中の是正が急務である。しかし、市の指定管理者として東京圏に本社がある事業者がふえてきている。指定管理者の選定の際には、地元企業の育成や従業員の生活に目配りができる地域の企業を優先し、東京圏に本社がある事業者は避けるべきではないのか。</p> <p>(3) プロポーザル方式による選定評価について (要旨) 国民皆年金と国民皆保険は、わが国の社会保障の二本柱である。本市のプロポーザル方式による業者選定においては、従業員を無理やりパート勤務にし、無年金者や無保険者をふやすような事業者を評価するのか。</p> <p>(4) 公契約条例について (要旨) 安倍首相も最低時間給1,000円を目指すことを表明した中で、本市は公共施設の指定管理者が従業員の年収を200万円未満に切り下げていることを認めるのか。公契約条例で、最低限高卒初任給レベルの時間給を保障することにより、市民を貧困から救済すべきだと思う。</p> <p>2 障害児通所支援事業の現状と課題について</p> <p>(1) 市内の障害児通所支援事業の対象となっている事業所数及び支援員の配置基準について (要旨) 本事業の新年度予算13.4億円は、平成26年度の2.7倍、29年度の3割増である。実態と課題を聞きたい。</p> <p>(2) 中核市移行に伴う障害児通所支援事業の移譲について (要旨) 中核市への移行に伴い、事業者の指定や監督・指導等の業務はいつから移譲されるのか。</p> <p>(3) 支援員の資格と研修体制について (要旨) 現在、支援員となるための資格制度はないが、資格制度を設けるよう国に働きかけるべきではないか。また、支援員の研修体制はどうなっているのか。</p>		

発言順位	5	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(4) 障がい児の虐待防止や権利擁護について (要旨) 施設運営には多額の税金が使われており、行政や保護者が事業所の経営状況や職員の処遇などをチェックできるようにすることで、通所児童の虐待防止や権利擁護にもつなげることができるのではないか。事業所の財務資料などを公開すべきである。</p>		
	<p>3 西明石地域のまちづくりについて</p> <p>(1) 市役所新庁舎整備の候補地から西明石地域を除外したことについて (要旨) 市役所新庁舎整備の候補地から西明石地域を除外したことについて、地域住民に向けた説明会を行い説明責任を果たすべきである。</p> <p>(2) 「まちづくりの姿」でうたわれている計画策定委員会の設置について (要旨) 西明石活性化プロジェクトでまとめられた「まちづくりの姿」では、計画策定委員会を新たに設置することになっている。当該委員会で最優先課題に対する「目指すこと」の事業化計画を地域住民が参加・参画して協議すべきではないのか。</p> <p>(3) 西明石地域の建物密集地の防災対策について (要旨) 大規模災害に備え、西明石地域の建物密集地の防災対策を早期に実施すべきである。</p> <p>(4) 最優先課題であるJR西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性の向上について (要旨) JRや川崎重工、商店街、そして地域住民代表とともに協議する必要があるのではないか。</p> <p>(5) 地域交流拠点の充実と西明石市民センターについて (要旨) 地域交流拠点の不足が最優先課題として挙げられている。行政施設や子育て・文化施設、高齢者等の居場所、集会所などのあり方を地域住民と協議すべきである。また、地域交流拠点と市民センターの違いを聞きたい。</p>		
<p>4 スクールソーシャルワーカーの配置について</p> <p>(1) スクールソーシャルワーカーの人員体制の目標について (要旨) どの程度の人員体制で取り組もうとしているのかを聞きたい。</p> <p>(2) スクールソーシャルワーカー導入の背景と役割について (要旨) 貧困が教育の格差を拡大させていると言われている。スクールソーシャルワーカーは、家庭の生活困窮に対する支援や親に対する就労支援も行うのか。</p>			

発言順位	5	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>(3) スクールソーシャルワーカーの活用と学校との連携について (要旨) 保護者と教職員の間での調整や相談援助を行うなど、スクールソーシャルワーカーが教職員とチームを編成して支援体制を作ることが大きな役割だと思うが、そのためにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(4) スクールソーシャルワーカーの育成並びにケースワーカーの活用について (要旨) スクールソーシャルワーカー育成の取り組みについて聞きたい。また、人材確保が困難な中、行政職のケースワーカーの活用についての認識を聞きたい。</p>		

発言順位	6	議員名	尾仲利治(民主連合)
発言事項	<p>1 子ども達が生き生きと遊び、学べる環境づくりについて</p>		
	<p>(1) 中学校給食について (要旨) 中学校給食の施設として東部学校給食センター、西部学校給食センターがともに完成したが、今後の運営はどのようにしていくのか。</p> <p>(2) 小中学校における図書館司書の配置について (要旨) 図書館司書の配置は、一つの学校に少なくとも一人を配置することが望ましいと思うが、どのような計画なのか。</p> <p>(3) 学校のプールでの緊急時の対応について (要旨) 学校のプールで緊急事態が発生した場合に、プールから直接、救急車の手配や警察への連絡ができるような設備が市内全ての学校に必要なと思うが、いかがか。</p> <p>(4) 保育士の処遇改善について (要旨) 保育士の処遇改善は、保育の質を落とさないためにもぜひ必要だと思うが、今年度はどのような改善が図られたのか。</p>		
	<p>2 空き家対策について</p>		
	<p>(1) 市としての空き家の捉え方について (要旨) 私の住む集落では、人が住んでいない家が確実に増加している。本市は人口が増加しているが、同時に人の住んでいない家も増加しつつある。市として空き家をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 空き家の利活用について (要旨) 全国的に見れば、空き家を店舗兼住宅、画廊等に改装して利活用を図ったり、空き家を取り壊し、更地にしてポケットパークにするなどしている例が見受けられる。明石市にはそのような計画があるのか。</p> <p>(3) 持ち主のわからない空き家、空き地について (要旨) 公共施設整備予定地に持ち主のわからない空き家、空き店舗があることで、何年もの間、着工できなくなっていると聞くことがある。また、持ち主のわからない工場跡地や耕作放棄地等も発生していると聞く。今後の人口減社会を見据えての対策を考えておく必要があると考える。</p>		

発言順位	7	議員名	林 健 太 (真 誠 会)
発 言 事 項	1 あかし里親100%プロジェクトについて		
	<p>(1) 今年度の取り組みと本市の里親の現状について (要旨) 平成31年4月の児童相談所開設に向けて、里親啓発等に力を入れていくことは、とても重要な取り組みである。そこで、今年度の取り組みと現在の本市の里親の状況について問う。</p> <p>(2) 里親登録数の増加に向けた今後の取り組みについて (要旨) 里親になるにはハードルが高いと感じている市民も多いと考える。そのため、今後、子供たちとの交流会はもとより、市民への啓発活動、里親及び里親に関心がある方へのより一層の支援、各種関連機関との連携などの充実が必要であると考え、新年度の取り組みについて問う。</p> <p>(3) 里親啓発のプロモーションについて (要旨) 里親啓発にあたり、正確な情報と多くの機会を提供するためにも、新聞、ケーブルテレビ、専用ホームページの開設を初め、SNS等も活用するなど、多角的に広報媒体を活用することが必要であると考え、市の見解を問う。</p>		
2 妊娠期からの切れ目ないこども・子育て支援の強化について			
<p>(1) 産前産後の母親へのサポートについて (要旨) 厚生労働省が母子健康施策の推進に向け、産前産後サポート事業及び産後ケア事業のガイドラインを発表したが、本市はこれに基づき具体的にどのような取り組みを行っているのかを問う。</p> <p>(2) 子育て相談LINEの開設について (要旨) あかし子育て相談ダイヤルは気軽に子育ての悩みを相談できる非常に良い事業であるが、さらに身近に、気軽に相談できるよう、LINEを活用した相談窓口を設けてはどうかと考えるが、市の見解を問う。</p>			

発言順位	8	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>1 明石の生活環境を守るために</p> <p>(1) ごみ屋敷への市職員の訪問対話運動を推進しないか。 (要旨) 近年、認知症や精神疾患が原因で、ごみ屋敷になるという事例がふえてきた。ごみが財産であると主張する人への対応は困難を極めるが、認知症、精神疾患の人には、訪問して対話をすれば改善される見込みがあるのではないか。</p> <p>(2) 資源ごみ持ち去り撲滅キャンペーンを実施しないか。 (要旨) 新年度から資源ごみの持ち去りを禁止する条例が施行されるが、周知徹底し、持ち去りを撲滅するためにキャンペーンを実施しないか。自治会等に協力を依頼し、集積場所の見回り運動をする、GPS端末を資源ごみに仕込んで持ち去りルートを特定する等が考えられるが、どうか。</p> <p>2 小中学校への太陽光発電の設置について</p> <p>(1) 小中学校の新設時や大規模改修時に、校舎屋上に太陽光発電を設置しないか。 (要旨) 小中学校に太陽光発電を設置すると、突然の停電時にもさまざまな対応ができると考える。また、避難所として使用する時に停電しても電気を使うことができるのではないか。利便性が向上すると思うが、どうか。</p> <p>3 市役所における適切な人員配置を</p> <p>(1) 中核市への移行に伴い、人員増が必要ではないか。 (要旨) 中核市になると2,000項目もの事務が移譲される。人をふやさなければ対応できないと思うが、どうか。</p> <p>(2) 文化施策を所管する部署において人員増が必要ではないか。 (要旨) 文化の醸成・発展のための支援は、地方自治体の重要な役目だと考える。そのために、文化施策を所管する部署の人員をふやさなければならないと思うが、どうか。</p> <p>4 消費生活相談について</p> <p>(1) 消費者被害に関する相談体制の充実について (要旨) 新年度より消費生活係が市民相談室に移管される予定である。より一層市民に寄り添った相談体制の構築を望むが、どうか。</p>		

発言順位	9	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 国民健康保険について</p> <p>(1) 医療費無料化による国庫負担金の減額について (要旨) 明石市では、こども医療費は所得制限なしで中学校卒業まで無料となっているが、これにより国庫負担金が減額されていた。今回、国は未就学児の医療費助成については減額対象としないと方針を改めたが、明石市への影響はどうか。</p> <p>(2) 多子世帯に負担がかかる均等割の減免について (要旨) 均等割は多子世帯に負担がかかる。第3子以降の子どもが18歳未満の家庭について、均等割を全額免除にしてはどうか。</p> <p>(3) 一般会計からの繰り入れについて (要旨) 明石市では、国保会計に一般会計からの法定外繰り入れを行っているが、金額が他市と比べて少ない。法定外繰り入れをふやして、保険料の減額につなげるべきではないか。</p>		
	<p>2 待機児童完全解消プロジェクトについて</p> <p>(1) 200人規模の認可保育所整備について (要旨) 子どもの施設として200人規模は大きすぎないか。所長・園長がすべての子どもを把握することは困難ではないか。時差勤務で他のクラスの子どものも保育する保育士にとっては、名前を覚えることすら大変である。また、地震などの災害時の避難体制は大丈夫なのか。</p> <p>(2) J T跡地に保育所が2カ所新設されることについて (要旨) 2カ所が隣り合って開設される予定であるが、互いが競い合うことによって子どもに負担をかけるようなことにならないか心配する。市はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 卸売市場の敷地の一部に開設される保育所について (要旨) 敷地の近くを走る新幹線の振動や騒音は、子どもに悪影響を与えないか。</p> <p>(4) 株式会社が設置する認可保育所について (要旨) 保育事業者の公募に当たっては、株式会社による応募も可能ということだが、株式会社は事業収入総額に占める人件費の割合が社会福祉法人と比べると非常に少なく、経理区分間繰入金支出の金額も社会福祉法人と比べて桁違いに多いという報告もあるが、大丈夫なのか。</p>		

発言順位	9	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>3 幼稚園教諭、臨時幼稚園教諭の給与について</p> <p>(1) 幼稚園教諭、臨時幼稚園教諭の給与減額について (要旨) 幼稚園教諭及び保育士の給与に係る処遇の一元化を図るために給与体系が変わるが、これにより最も大きな減額となる教諭の生涯賃金の減額はどの程度になるのか。 また、臨時幼稚園教諭及び臨時保育士においても、給与に係る処遇の一元化により、最も大きな減額となる臨時教諭の年間賃金の減額はどの程度になるのか。</p> <p>(2) 幼稚園教諭から理解を得られたのか。 (要旨) 幼稚園教諭とどのような話し合いが持たれたのか。また、幼稚園教諭が意欲とやりがいを持てるよう、経過措置を講じるほか、幼稚園現場からの要望である子どもと接する時間をふやすための職場環境の整備などについては、どのように検討されたのか。</p>		

発言順位	10	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 ユニバーサルデザインを考慮したやさしいまちづくりについて</p> <p>(1) 市内でのバリアフリー化について (要旨) 手話言語・障害者コミュニケーション条例や明石市障害者配慮条例施行後の市内での支援体制と、今後の拡充についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 公共交通機関のバリアフリーへの取り組み状況について (要旨) JRでは駅ホームドアの設置が進められているが、JR以外の鉄道を含めた公共交通機関のバリアフリーへの取り組み状況についてお尋ねしたい。</p> <p>(3) 店舗などにおけるバリアフリー化の推進について (要旨) 合理的配慮の提供を支援する公的助成制度が創設されたが、現在の状況と、今後のさらなるバリアフリー化についてお尋ねしたい。</p> <p>(4) グランドデザインについて (要旨) バリアフリーを実現するための施策展開のよりどころとなるグランドデザイン(例えば条例づくりなど)の必要性についてお尋ねしたい。</p> <p>2 盲ろう者の支援について</p> <p>(1) 市の盲ろう者支援について (要旨) 市の盲ろう者の実態、支援の現状と今後の支援についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	11	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>1 不登校児童生徒への支援のあり方について</p> <p>(1) 不登校児童生徒への支援に係る法律・通知に対する本市の取り組み状況について (要旨) 平成28年12月に公布された義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律、平成28年9月及び平成29年3月に文部科学省から出された不登校児童生徒への支援についての通知に対する認識と対応、現場への周知等について、現状を聞く。</p> <p>(2) 多様な教育機会の確保について (要旨) 現在、市内に2カ所ある適応教室だけでは、多様な教育機会を確保できているとは言えない。学校外の多様な学びの場としてフリースクールのような居場所が必要ではないか。市の見解を問う。</p> <p>(3) 中学校卒業後の支援について (要旨) 中学校卒業後、進学も就労もしていない者や、高等学校へ進学したが中途退学した者等に対して、多様な進学や職業訓練等の機会について相談できる窓口、社会的自立を支援するための受け皿や社会とのつながりを絶やさないための適切な対応が必要だと考える。本市の現状と具体的な支援体制について、市の見解を問う。</p> <p>2 生物多様性あかし戦略の取り組み状況について</p> <p>(1) 生物多様性あかし戦略推進会議について (要旨) 平成28年2月から始まった生物多様性あかし戦略推進会議の取り組み状況を聞く。</p> <p>(2) (仮称)明石の大切な生きものリスト作成の進捗状況と活用について (要旨) (仮称)明石の大切な生きものリストを今年度中に作成することであったが、その進捗状況を聞く。また、作成後の活用方法について、市の見解を問う。</p> <p>3 市有地を活用した大規模保育所整備の課題について</p> <p>(1) 大規模保育所施設の必要性について (要旨) 30年間の事業用定期借地権を設定するようだが、今後の就学前児童の人口動向をどのように分析しているのか。30年間も現在のような保育需要が続くのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>(2) 保育の安全の確保について (要旨) 多くの子どもを預かるということは、けがや事故が起こる可能性も高まる。具体的にどのような対策を講じるのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 保育士の確保と質を高めるための施策について (要旨) 保育士を十分確保できる見込みはあるのか。また、保育士の質を高めるためには、例えば、保育士養成サテライト校の設置やキャリアアップ研修の活用等、市独自の仕組みや工夫が必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(4) 周辺住民への配慮や対応について (要旨) パークアンドライド方式を導入し、車での送り迎えを可能としているが、今の道路状況では混雑が予想される。また、送迎と隣接する小学校の通学時間帯が重なることから、安全面においても周辺住民から心配の声を聞いている。どのような配慮や安全対策を考えているのか、市の見解を問う。</p> <p>4 更生支援・再犯防止について</p> <p>(1) 更生支援・再犯防止施策の現状と課題について (要旨) 本市の取り組み状況と課題について聞く。</p> <p>(2) 実効性のある支援について (要旨) 再犯防止のためには、支援団体との連携、当事者団体へのサポート、就労支援のための協力雇用主の拡大等が必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(3) 市民の理解や協力を得るための仕組みづくりについて (要旨) 当事者団体がグループホーム等の施設を開設しようとしても、地域住民の協力を得られない状況があると聞く。今後は、市民の理解や協力を得るための仕組みづくりが重要であると考え、どのようにして仕組みづくりを進めていくのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	1 あかし保健所の事業について		
	(1) 感染症対策事業について (要旨) この冬、インフルエンザが大流行している。今後、あかし保健所としての感染症対策、市民への広報について問う。		
	(2) 難病保健事業について (要旨) 難病患者やその家族は、経済的、身体的、精神的負担が大きいため、難病患者をより広く助ける仕組みを検討していく必要がある。本市における難病患者の現状はどうか。難病患者のニーズの把握と医療費助成制度について問う。		
(3) 精神保健事業について (要旨) 本市における精神障害者保健福祉手帳所持者数、自立支援医療費受給者数、入院患者数の現状はどうか。また、精神科未受診者や医療受診中断者への対応など、今後の精神保健の取り組みについて問う。			
2 地域総合支援センター設置について			
(1) 相談窓口の運営体制について (要旨) 高齢者に関する相談窓口である地域の在宅介護支援センターが廃止され、市内の相談窓口の数が減少する。身近で気軽に相談に行ける窓口の整備が必要であると考え。			
(2) センターの相談対応について (要旨) 複合的な課題についてたらい回しにならないようにするため、専門職による高齢者、障害者、子ども等の総合的・包括的な相談支援及び地域における更生支援に関する相談窓口となっているが、どのような内容に対応するのか。			
3 市街化調整区域等の有効活用と見直しについて			
(1) 市街化調整区域等の現状について (要旨) 市街化調整区域は、都市計画上、開発を抑制している地区である。この開発規制が既存集落・地域コミュニティーの存続に大きな影響を与えている。市内の現状はどうか。			
(2) 大久保・魚住間の市街化調整区域等の有効活用について (要旨) 市街化調整区域内で、農地を守る地域と開発可能な地域を整理するなどして、市の権限の範囲内で有効に活用する方法はないのか。			

発言順位	12	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事	<p>(3) 大久保・魚住間の市街化調整区域等の見直しについて (要旨) 都市計画法上、市街化区域、市街化調整区域の線引きについては県に権限がある。地域の実態に沿った見直しをするためにはどうすればよいのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 人と動物が共生するまち明石について</p> <p>(1) (仮称)あかし動物センター開設準備について (要旨) 4月に動物センターが開設しますが、施設本体、備品、屋外施設の整備等のハード面、及び職員配置、施設管理、ボランティア募集・研修、ホームページ・パンフレット等の広告媒体などのソフト面の準備は計画どおりに進んでいるのか、具体的にお答えください。</p> <p>(2) 動物センターの休日譲渡会の開催について (要旨) 本市の動物センターは殺処分ゼロを目指して準備を進めてきました。昨年、明石市から県の三木動物愛護センターに持ち込まれた猫は約180匹で、平成30年度開設の本市の動物センターへの持ち込みはこれを大きく上回ると予想されます。殺処分ゼロを目指すには、譲渡会が成否の鍵を握っており、子どもを伴う家族が来場できる休日の開催が最も重要であります。休日開催の考えをお答えください。</p> <p>(3) 多様なボランティア募集と団体との連携について (要旨) 動物愛護に関係するボランティアには多様な取り組みがあります。人間に慣れていない場合は不適合で殺処分になりますが、「懐きボランティア」によって改善されます。子猫は「ミルクボランティア」によって譲渡年齢まで育てる必要があります。譲渡には、個々の個性を知る「譲渡ボランティア」が仲介しないと、なかなか里親につながりません。経験と知識の蓄積が殺処分から犬や猫を救済しているのが現実です。 このように、長年、動物愛護の現場で活動をしているボランティアとの協働なくして、殺処分ゼロの目的を達成することは不可能と考えます。ボランティアとの協働についての見解をお答えください。</p> <p>(4) 今後、多頭飼育崩壊を起こさない体制について (要旨) 本市でも、昨年の12月に、集合住宅の一室に27匹の猫が不適切な飼育により悪臭を放つ状態になっていましたが、有志のボランティアが2カ月にわたり、去勢・避妊手術、治療、里親、預かり先を手配して全頭を救済しました。本年4月からは明石市が対応することになりますが、多頭飼育崩壊を起こさない体制をどのように構築するのか、お答えください。</p>		

発言順位	13	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>2 学校における働き方改革について</p> <p>(1) 文部科学省の緊急通知について (要旨) 本年2月9日に、文部科学省より都道府県、指定都市教育委員会に、学校における働き方改革に関する緊急対策についての通知がありました。昨年4月公表の公立小中学校の教員勤務実態調査で明らかになった過酷な勤務実態に対する中央教育審議会の中間まとめの答申を踏まえた緊急対策通知であります。この通知に対する教育長の見解をお答えください。</p> <p>(2) 教育委員会が担うべき業務について (要旨) 文部科学省の通知は13項目ありますが、特に統合型校務支援システムの構築については、明石市は県下最下位の水準であり、早急に実施すべき対策であります。本年度に検討プロジェクトチームを立ち上げましたが、検討状況と実行計画についてお答えください。</p> <p>(3) 基本的に学校以外が担うべき業務について (要旨) 特に学校徴収金の徴収・管理、地域ボランティアとの連絡調整の現状と対策について、ご見解をお答えください。</p> <p>(4) 必ずしも教師が担う必要のない学校の業務について (要旨) 特に部活動のあり方についての対策が求められております。部活動指導員の配置、部活動の休養日の設定等の改善策についてのお考えをお答えください。</p> <p>3 大久保北部の交通政策について</p> <p>(1) 江井ヶ島松陰新田線と玉津大久保線について (要旨) 近年、特に国道2号の西明石から大久保間の慢性渋滞が続いております。この解決策は、江井ヶ島松陰新田線と神戸市側の玉津大久保線の接続しかありません。平成29年度に詳細設計と現況測量の予算が計上されていますが、進捗状況と神戸市との協議の状況についてお答えください。</p> <p>(2) 山手環状線の西工区について (要旨) 山手環状線の西工区については、地権者との調整も終えて、本年の完成に向かって工事が進んでおります。地元自治会との安全対策協議事項がありますが、地元要望に対して明石警察署との協議は進んでいるのか、開通の際の安全啓発はどのようにするのか、お答えください。</p>		

発言順位	14	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>1 福祉の充実について</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの待機者解消について (要旨) 特別養護老人ホームは、重度の要介護者の長期入所に対応できる施設として需要が高く、待機者数は右肩上がりです。待機解消をどのように行うのでしょうか。本市での待機者の状況と解消に向けた取り組みをお聞かせください。</p> <p>(2) 子どもたちの貧困の解消策について (要旨) 子どもの貧困問題は健康や学力にも悪影響を及ぼすため、健全な青少年育成の観点からも、解消しなければなりません。貧困の連鎖を断ち切るためにも、行政のみならず地域の協力を得るなどして見えない貧困を把握し、解消策を講じなければなりません。こども食堂の拡充を含め、本市の取り組みをお聞かせください。</p>		
	<p>2 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について</p> <p>(1) 大地震などの被害想定とライフライン復旧計画について (要旨) 南海トラフ巨大地震等において人命救助は最優先ですが、都市機能を失う被害想定とライフライン復旧計画も危機管理の基本だと思います。被害を想定してのライフライン復旧計画は万全でしょうか。安心して暮らせる本市の取り組みをお聞かせください。</p> <p>3 住むところと働くところづくりについて</p> <p>(1) 民活ベッドタウン構想について (要旨) 本市では、農地の転用など民間活力による住宅供給が好調ですが、人口増を維持するためには、これまで以上に魅力のあるまちづくりの推進が必要です。民間の住宅供給が陰りを見せる前に、中長期的な民活ベッドタウン構想が必要ではないでしょうか。今後の人口予想と人口をふやすための具体的な計画をお聞かせください。</p> <p>(2) 雇用、所得増の推進について (要旨) 本市は人口増、そして地域経済の活性化による好循環の状況にあるとお聞きしますが、雇用状況はどれほど改善されたのでしょうか。また、市民の所得はどれくらい上がったのでしょうか。雇用拡大や所得増につながる取り組みと地場産業育成の取り組みをお聞かせください。</p>		

発言順位	14	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>4 公衆トイレ、市民トイレの拡充について</p> <p>(1) 公衆トイレ、市民トイレの拡充と適正な維持管理について (要旨) 以前、市民から公衆トイレの衛生面での苦言をお聞きしました。多くの方が利用され、公衆衛生上も大切な施設です。また、公共施設のみならず民間企業のご協力による市民トイレも大いに意義があります。明石駅前の市民トイレは、規模も含め十分でしょうか。観光振興の観点からも、本市の印象にも影響すると思います。見解をお聞かせください。</p> <p>5 良識のある愛犬家のためのドッグランについて</p> <p>(1) ふん害防止にもつながるドッグランについて (要旨) 良識ある愛犬家の交流の場、拠点となりうるドッグランは、ふん害防止にもつながり、意識啓発の拠点にもなると思います。動物センター内や遊休の公有地活用など、大きな費用を要しない方法でのドッグランはできないのでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	15	議員名	坂口光男(真誠会)
発言事項	<p>1 明石市人口ビジョン及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証と課題について</p> <p>(1) 人口ビジョンについて (要旨) 子育て支援策により、転入者が予想以上の増加傾向となり成果を収めているものと認識しているが、将来的には社会動態人口である転入・転出人口は均衡すると予測されている。年間約1万人の転出人口を大幅に減少させる取り組みについての認識を問う。</p> <p>(2) 出生数について (要旨) 子育て支援策として妊娠から出産まで、また、それ以降についてもきめ細かな支援策を講じているが、トリプルスリーの1つである年間出生数3,000人の目標はまだ達成できていない。今後の見通しと認識を問う。</p> <p>(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状の評価について (要旨) 保育所待機児童数や明石産品を使った新たな加工品・商品の開発等、戦略の進捗を図るためのKPI(重要業績評価指標)について、①予想以上の成果が上がっている、②ほぼ目標を達成できる、③目標達成が困難である等、現状の認識を問う。 また、同戦略における「新たな人の流れをつくる」項目の中で、定住促進につながる環境の整備を図るための主な施策としてあげられている若者の婚活支援、空き家対策等についての認識を問う。</p> <p>2 江井ヶ島松陰新田線の早期供用開始について</p> <p>(1) これまでの取り組みについて (要旨) 都市計画道路である江井ヶ島松陰新田線の平成28、29年度の取り組み内容と進捗について問う。</p> <p>(2) 早期完成に向けた今後の取り組みについて (要旨) 事業完成を平成35年度としているが、渋滞問題の早期解決の必要性が高まっており、道路が接続する神戸市との協議も踏まえ、工事期間短縮の可能性を問う。</p> <p>(3) 松陰新田地区の活性化について (要旨) 幹線道路の完成は地域活性化に大きく寄与するものと期待されており、周辺土地の利活用を含め、その可能性について問う。</p>		

発言順位	16	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 神戸地方裁判所平成28年(ワ)第1201号国家賠償法による損害賠償等請求事件について</p> <p>(1) 判決について (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(2) 裁判に要した経費について (要旨) その費用について問う。</p> <p>2 生活道路・通学路の安全対策について</p> <p>(1) ラッシュ時の抜け道利用車について (要旨) 大久保地域の生活道路及び通学路における朝夕のラッシュ時に抜け道を利用する車の流入動向と現状について、市の認識を問う。</p> <p>(2) 改善策について (要旨) 時間規制、ハンプ(車の減速を促す構造物)や狭さくの設置など、地域に適した対策を講じるべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>3 学校の危機管理について</p> <p>(1) 不審者の侵入状況と認知件数について (要旨) 機械警備導入後の状況と対応を問う。</p> <p>(2) 昨年末に発生した不法侵入者への対応とその後の取り組みについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>4 明石商業高等学校新規採用教員の手続きの不備に係る問題について</p> <p>(1) 事実の隠ぺい疑惑について (要旨) 12月議会以降、事実関係の調査は行われたのか。</p> <p>(2) 校長の「市長命令」発言について (要旨) 見解を問う。</p> <p>(3) 12月議会の質問日前日の教育委員会事務局次長の対応について (要旨) 組織的な対応か、個人的対応か、認識を問う。</p> <p>5 東部学校給食センターに係る問題について</p> <p>(1) 施工管理ミスの発生について (要旨) 発生原因、責任の所在について認識を問う。</p> <p>(2) 地下ピットの床面変位について (要旨) 水抜きコアの施工など対策工事实施以降の状況について問う。 問題の発生原因について、改めてその認識を問う。</p>		